



つばめ便り

つばめ創社広報誌

令和7年12月号

2025年（令和7年）を振り返って

施設長 高橋浩万

あっという間に2025年が過ぎ去っていました。2025年、振り返ってみると「コメ不足」や「酷暑」が記憶に残っています。また、高市早苗首相が、日本初の女性総理大臣に、就任したことも印象に残る年でした。高市首相と言えば、2025年、年間流行語大賞「働いて、働いて、働いて、働いて、働いてまいります」との発言は、たいへん驚きました。「24時間働けますか」のCMが流れていた昭和時代の私にとっては、あの時代の再来かと思えたほどでした。発言の矛先は、自分自身や官僚とのことで、ホットした次第でした。

つばめ創社については、通所者の利用が増えたことです。昨年度（令和6年度）、一日の平均利用者数は15.8人に対し、令和7年4月から11月の一日の平均利用者は17.2人に増加しています。つばめ創社は就労支援の場ではありますが、生活の事や金銭の事等、利用者の相談などに気軽に職員が対応を行ったことで利用者が安心して通所できる場所となつたのではと思われます。

表彰 勤続20年間、おめでとうございます。（令和7年9月10日 浜松アリーナ）



通所されているWさんが勤続20年を迎え、浜松アリーナで開催された作業所連合会・わの表彰大会で表彰されました。Wさんは平成16年5月に入所され、箱折作業や手芸等幅広い作業に関わってきました。「20年通所することは目標だったので良かったです。」との感想があり、今後の目標として「毎日通所できないかもしれません、あと10年は通所したいです」と話してくれました。周囲に朗らかな雰囲気をしてくれるムードメーカーのWさん、これからも健康を保って頑張ってください。

つばめ創社の現況（11月30日現在）

定員 20名

- 在籍 26名 男性 12名 女性 14名
- 平均年齢 49歳

行事・レクリエーションの予定

- 1月5日 新年会・食事会
- 2月 カレーライス作り
- 3月 お花見・食事会



日々の生活から

～防犯・防災・イベント～

防犯 講話「犯罪から身を守るために」 講師：浜松中央警察署 署員 （令和7年8月29日 作業場）

身边に取り巻く様々な犯罪の種類と、被害に遭わないための防犯対策を教えていただきました。特に近年、巧妙化している特殊詐欺やSNSを悪用したトラブルが急増し被害届が出ていて、被害金額は県内だけで半年で数十億円を超える被害が発生していることに愕然としました。また、不審者から自分の身を守るために5つの行動の頭文字をつなげて作られた「いか・の・お・す・し」の合言葉や悪質商法に対する「自分は大丈夫」という思い込みは捨て、自分でできる対策を日頃から心がけて生活することが防犯対策と学びました。



防災「防災研修を開催しました」



10月17日、浜松市中央区役所区振興課の方を招いて、「大規模災害に備えて」と題した講演会を開催しました。この地域で起きた災害を想定した分かりやすいお話をしました。大切なこととして、1. 風水害や地震等の災害を知る、2. 自分ができる日頃の備えや対策をする（自助）、3. 地域の力で命を守る（共助）を学びました。

イベント ボウリング大会

令和7年10月29日に『浜松毎日ボウル有玉』でボウリング大会を初めて開催しました。JR浜松駅の改札口で待ち合わせをし、遠州鉄道の新浜松駅から遠鉄自動車学校前まで電車に乗り、そこからは徒歩で会場まで向かいました。この大会は、経験者だけでなく初めてボールを握る方も参加しました。最初は緊張した様子でしたが、投球を重ねるごとに笑顔が増え、ストライクやスペアが出るたびに大きな歓声が上がりました。最後までみんなで声を掛け合いながら盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。今後もボウリング大会を継続し、体力づくりとともに、利用者さんにとって素敵な思い出づくりの機会にしていきたいと思います。



寄付のお礼

アルミ缶、古新聞、古紙、エコキャップ・衣類等の寄付をいつもありがとうございます。
これからもよろしくお願ひいたします。

NPO法人 明生会 就労継続支援B型事業所 つばめ創社

〒432-8045 浜松市中央区西浅田1丁目9-9

TEL 053-442-6477 / FAX 053-442-6476

メール hama-tubame-syotyo@hamamatu-meiseikai.com